

教職 e ポートフォリオを用いた 教員養成初期段階の学生による相互評価の分析の試み

An Analysis of Peer Assessment on Preservice Teachers' e-Portfolio

谷塚 光典*,** 東原 義訓* 鈴木 克明** 喜多 敏博** 渡邊 あや***

Mitsunori YATSUKA*,** Yoshinori HIGASHIBARA*

Katsuaki SUZUKI** Toshihiro KITA** Aya WATANABE***

信州大学* 熊本大学** 国立教育政策研究所***

Shinshu University* Kumamoto University**

National Institute for Educational Policy Research***

要約：本研究では、教員養成初期段階である教育学部 1 年次生による相互評価に着目して、エビデンスの蓄積と相互評価を重視した教職 e ポートフォリオに記述された相互評価コメントの特徴を明らかにした。学生間の相互評価コメントには、自己の経験に照らし合わせてのコメント、更なる相互評価へと繋がっていくコメント、自分の成長に関連づけるコメント、互いの成長を励まし合うコメントなどがあることがわかった。

キーワード： 教師教育、教育実習、教職実践演習、省察、履修カルテ

1. はじめに

信州大学教育学部では、2010 年度入学生から新設・必修化された「教職実践演習」に対応するために、エビデンスの蓄積と相互評価を重視した教職 e ポートフォリオを開発した (谷塚, 2013)。そして、教職 e ポートフォリオの作成と相互評価を、各学年で履修する臨床経験科目等の課題としている。

多くの教員養成系大学・学部においても教職ポートフォリオ (Web 版や冊子体) が開発・導入されてきている (例えば、姫野, 2012; 西岡ほか, 2013)。他者が作成した e ポートフォリオを閲覧したり他者からのコメントを読んだりすることにより、自己のリフレクションが誘発されることが明らかになっている (植野・宇都, 2011) がその一方で、多くの教職ポートフォリオは、教職関連科目の履修状況の記録にとどまっており、学生間の相互評価まで組み込まれているものは少ないようである。

そこで、本研究では、教員養成初期段階である教育学部 1 年次生による相互評価に着目し、教職 e ポートフォリオに記述された相互評価コメントの特徴を明らかにすることを目的とする。

2. 「教育臨床入門」における教職 e ポートフォリオの活用と相互評価

信州大学教育学部 1 年次生全員が履修する必修

科目「教育臨床入門」は、そのねらいとして、「リフレクションの意義を理解し、その多様な方法についての基礎的な知識・技術を身に付ける。」や『臨床経験ポートフォリオ』及び『履修カルテ』の作成を通して、学校園における自己の教育経験を研究的にリフレクションし、次の活動への課題を見いだす。」を挙げている。これらは、学部の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) の 1 つ「理論と実践を往還する省察と改善の態度」に対応している。

2012 年度の 1 年次生は、「教育臨床入門」の最終課題として、教職 e ポートフォリオを作成し、その相互評価を行った (谷塚ほか, 2013)。同じ課程・コースの学生が作成した教職ポートフォリオを閲覧しながら、「1. ○○さんから学んだ点」「2. ○○さんへのアドバイス」という 2 つの観点を設定して項目立てをして相互評価コメントを記入した。図 1 に示したように、2 人分 (以上) の相互評価コメントを記入することとし、1 人目は自分の次の学籍番号の学生に対して、2 人目 (以降) は同じコース・課程の任意の学生に対して、2013 年 2 月 12 日から 2 月 28 日の間に記入するように指示した。

3. 学生間の相互評価コメントの分析

学生間の相互評価コメントには、次のような記述が見受けられた。

- 教職 e ポートフォリオの記述を引用しつつ、自己の経験に照らし合わせてのコメント
- 「・・・さんの意見も聞いてみたい」のように、更なる相互評価へと繋がっていくコメント
- 「・・・を私も見習おうと思いました」のように、自分の成長に関連づけるコメント
- 「・・・をともに頑張っていきましょう」のように、互いの成長を励まし合うコメント

4. おわりに

本研究では、教員養成初期段階の学生が作成した教職 e ポートフォリオの相互評価コメントの分析を試みた。今後の課題としては、相互評価コメントの質的向上を目指して、教職 e ポートフォリオの活用方策及び学生への指導内容を検討していきたい。

付記

本研究の一部は、JSPS 科学研究費基盤研究(C) 課題番号 25350325 「教職キャリア志向向上を目指す教員像構築のための教職 e ポートフォリオの活用」及び基盤研究(B) 課題番号 25282050 「自律的

に学び続ける教師の核となる資質・能力の解明と質保証に関する研究」の助成を受けたものである。

参考文献

- 姫野完治 (2012) 教職志望学生の成長感の変容を支援するポートフォリオおよびカルテ・システムの開発と試行. 教師学研究, 第 11 号, pp.1-11
- 西岡加名恵ほか (2013) 教職実践演習ワークブックーポートフォリオで教師力アップー. ミネルヴァ書房
- 植野真臣・宇都雅輝 (2011) 他者からの学びを誘発する e ポートフォリオ. 日本教育工学会論文誌, 第 35 巻, 第 3 号, pp.169-182
- 谷塚光典 (2013) 信州大学における e ポートフォリオの運用と工夫ー自己評価と相互評価による「目指す教師像」の構築を目指してー. SYNAPSE, Vol.23, pp.12-15
- 谷塚光典ほか (2013) 教職 e ポートフォリオを活用した教員養成初期段階の「目指す教師像」の構築. 教育システム情報学会研究報告, Vol.28, No.2, pp.61-64

履修カルテシステム

学生: 11E9992D 松本 三郎

トップ → 相互評価 → 相互評価入力 → 入力

相互評価の入力

相互評価は、Web入力が終わってからになります。2月12日～2月28日の間に、再度アクセスして、2人分の相互評価コメントを記入して下さい。

1人目：自分の次の学籍番号の人
2人目：同じコース・課程の任意の人

まず、相互評価する相手を選んで、[入力] ボタンを押します。下に相互評価対象者の学籍番号・氏名等が表示されますので、そうしたら、相互評価コメントを入力可能です。2人分（できれば3人以上）のコメントを記入して下さい。

新しい対象者: 11E9993D:上田 四郎 [入力]

学籍番号 : 11E9993D
氏名 : 上田 四郎
記録の表示: [目標と総合評価](#) [観点別自己評価](#) [レーダーチャート](#) [折線グラフ](#) [履修状況](#) [相互評価](#)

1. ○○さんから学んだ点
.....
2. ○○さんへのアドバイス
.....

[提出] [戻る]

「相互評価」欄に、相手の「目標と総合評価」「観点別自己評価」を見て、相互評価コメントを入力します。項目立てをして「1. ○○さんから学んだ点」「2. ○○さんへのアドバイス」という2つの観点から相互評価しましょう。記入をしたら、[提出] ボタンを押します。（[提出] ボタンを押さないと登録されません。）

図 1 学生間の相互評価の入力画面の例（学生用マニュアルからの抜粋）